

■前回の改善計画の進捗評価

項目		前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価
Ⅰ．事業運営の評価（評価項目 1～10）		①看多機に適した理念を掲げる。 ②職員全員が必要な情報を共有できるようにする。 ③研修参加を促し育成につなげる。 ④防災訓練を 2 回/実施する。	①職員から意見、思いを募り検討した。 ②議事録の開示、必要な情報は管理日誌、申し送りノート等で伝達するように職員に説明し意識づけを行った。 ③研修案内の提示と声掛けを行った。 ④R6.6 月と 12 月に実施した。	①理念未作成、掲示出来ていない。 ②以前に比べ情報の共有が出来ようになったと感じる。 ③研修参加率はあまり変わっていない。研修に参加する人は大体決まった職員である。 ④達成できた。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	①カンファレンスを定期的実施し情報共有する。 ②業務の統一化を図る。（職員各々が自己流ですると抜けが出てサービスの質が低下する） ③ご家族と密な連携をとる。	① 1 回/月 定期カンファレンス行う。必要時臨時カンファを行う。左記を職員へ伝達し周知する。 ②業務マニュアルを作成する。 ③体調変化などその都度ご家族へ連絡し報告する。	① 以前に比べ情報共有できるようになった。適宜ケアマネから発信あり職員の意見を拾いあげケアプランに反映させている ②1 つずつ作成しているが、未完成が多々ある。 ③実施出来ている。
	2．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	①体調変化時、看護師が 24 時間対応し、提携先の光中央病院と連携をとり継続して対応していく。	①夜間帯は待機で対応、病院と円滑に連携取れるようにマニュアルを作成。	①作成中だが、病院との話し合いが出来ず、未完成。
	3．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①地域との関わりを増やしていく。 ②利用相談の受け入れ体制作りに努める。	①地域の祭りに参加、ボランティアの受け入れを行った。 ②2024 年 12 月～かもめカフェ 1 回/月開催している。	①達成出来ている。 ②地域と関わる集いの場として今後も継続する。
Ⅲ．結果評価（評価項目 42～44）		①安心して利用して頂くため、利用者様・ご家族との関わりも密に行っていく。 ②研修等で知識と技術を習得する。	①状況報告すると共に、家族の思いを聞く。 ②各当職員に研修参加促す。	①達成出来ている。 ②達成出来ていない。

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■今回の「評価結果」および「改善計画」

項目		評価結果	改善計画
Ⅰ．事業運営の評価（評価項目 1～10）		①明確な理念がない。 ②育成計画が作成されていないが経験も違う中で育成計画までは難しいのではないかと？	①理念を作成し、事業所内に掲示する。 ②育成の指標となるものを考え検討する。
Ⅱ．サービス提供等の評価	1．利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供（評価項目 11～27）	①ケアプラン、訪問看護計画書ともに利用者の状態、個別性を踏まえ立案されており、利用者・家族への説明も出来ている。 ②利用者情報の共有は大体出来ているが、抜けることもあり、情報共有の方法を見直す必要がある。	①継続していく。 ②職員全員で考え対策を考え実行する。
	2．多機関・多職種との連携（評価項目 28～31）	①提携病院と受け入れ体制の調整、緊急時等の対応方法確認と調整が必要。	①病院と協議し体制調整し共有していく。
	3．誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画（評価項目 32～41）	①たん吸引に対応できる介護職員が足りていない。 ②利用相談、事業所のアピール不足。	①夜勤者から優先してたん吸引の資格取得のため研修に参加してもらう。 ②かもめカフェでの利用相談の実施、引き続き地域の行事に積極的に参加していく。
Ⅲ．結果評価（評価項目 42～44）		①計画目標は大体達成しているが、病状変化や ADL 低下により全員の達成は難しい。 ②看取りの体制を整えていく必要がある。	①引き続き目標達成できるように状態をみながら関わっていく。 ②サークルでのマニュアル作成、病院との調整を行う。